

Our History

NECネットエスアイは、通信インフラとデジタル技術を融合させ、誰もが快適で便利に暮らせる社会づくりを推進しています。創立以来の施工技術をベースにICTを駆使するSlerという独自のポジションを築き上げ、幅広い分野での安全安心な通信インフラの構築を担いながら、DXを活用した新たなソリューションを創出しています。

NECネットエスアイの歴史

1953 日本電気から分離独立し「日本電気工事株式会社」を設立



1956 初のテレビ放送設備工事(中部日本放送、大阪テレビ)



1961 情報処理付帯設備分野へ進出

1968 メキシコオリンピック衛星通信工事

1968 通信線路分野へ進出

1970 中米5か国マイクロ工事(多国間同時施工)開始

1974 建設7業種の許可を受け総合建設業への足掛かりに

1976 初の海外現地法人をブラジルに設立

1980 「日本電気システム建設株式会社」へ社名変更

1984 国内拠点本部を新設し全国網展開強化

1986 NCC工事を本格化し新民営通信事業各社より大型受注
情報処理ソフトウェア開発体制発足

1992 大幅な機構改革を実施しC&Cシステムインテグレーション体制を強化

2004 データセンターを開設しアウトソーシング型の運用管理サービスを開始

2005 「NECネットエスアイ株式会社」へ社名変更

2007 働き方改革ソリューション
EmpoweredOfficeの事業化および社内導入



2015 国内子会社4社を機能別に再編
ウーマンズプロジェクトにて在宅ワーク実証実験を開始
IoT向けMVNO事業立ち上げ

2018 ベンチャー企業との共創による新事業創出に向けCVCファンド設立

2019 ICTを活用した陸上養殖事業へ参入

2023 本社を現在の東京都港区芝浦に移転しサステナビリティ経営を加速

2025 当社株式の上場廃止
NESICホールディングス株式会社へ参画



1953 ~

事業環境の変化

1950年代

- 戦後復興期
- 放送・通信インフラ整備の時代

1960 ~

1960-1980年代

- 国際通信・衛星通信本格化
- 世界で通信インフラ構築需要拡大
- 通信自由化によるNCC(New Common Carrier)の誕生/台頭

1990 ~

1990年代

- 通信インフラのデジタル化・高度化が進展

2000年代

- IP化・ブロードバンド化の進展
- 通信と放送の融合

2010 ~

2010年代

- クラウドの本格的利用拡大
- IoT・第4次産業革命

2020年代

- DXの加速
- 生成AIの進化と普及

創業／通信建設事業を展開

当社は1953年、日本電気株式会社(NEC)の電気通信工事部門が独立して誕生しました。テレビ放送の開始などを背景に通信設備需要が拡大するなか、通信インフラ工事会社として施工技術を磨き、高品質で信頼性の高いサービスを提供してきました。

国内外で事業を拡大

1960～1970年代には、国際通信や衛星通信の普及に伴う海外需要の拡大を受け、イラクでの電力線搬送工事を皮切りにアジア・中南米へ事業を展開しました。1980年代には、国内の通信自由化を背景に通信キャリア基地局整備などへ事業領域を広げました。

Slerとして躍進

IP化やブロードバンド化の進展を受けて企業向けICT事業へと領域を拡大し、施工からSI、保守までを提供する体制を構築しました。また、営業拠点やカスタマーサポート、保守パーツ管理・配送の拠点を全国に展開し、対応力を強化しました。

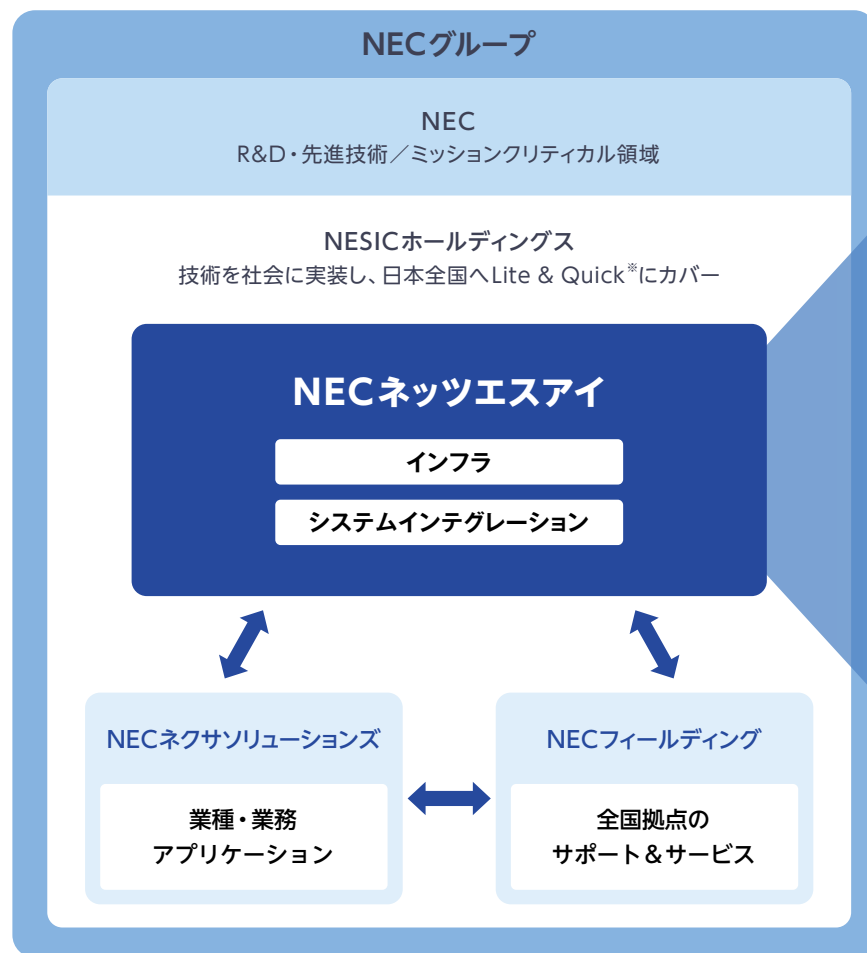
共創による事業領域拡大・新規事業創出

培ってきた技術力を基盤に、M&Aやパートナー企業との共創を通じて事業基盤を強化するとともに、クラウドやIoTを活用した新たな事業の創出を進めています。さらに、DXやAIの進展に対応した先進的なソリューション開発に注力し、コミュニケーションサービス・オーケストレーターとして事業領域を拡大しています。

Our Business

NECネットエスアイは、企業・通信事業者・官公庁や社会インフラ事業者といった多様なお客さまに対し、SIから施工・サービスまで幅広い事業で価値を提供しています。NECが生み出す先進技術を、NESICホールディングスのもと「Lite & Quick[※]」に日本全国へ実装・展開する役割を担っています。

当社はその中核として、施工の現場からビジネスの最前線まで幅広い分野のICTインフラを支え、多彩なアセットを活かしながら未来をつくる価値をお客さま、そして社会に提供し続けます。



※ Lite & Quick : お客さまの本質的なニーズを捉え、品質を保ちながら、迅速に価値を届ける考え方

NECネットエスアイの主な事業領域

● DXソリューション事業

主に企業や自治体向けに働き方改革やDX／ICTインテグレーション・サービスのソリューションおよび関連するBPOサービス／サポートサービスを提供しています。現場に根ざした高度なIT運用サービスと、実践ノウハウを活かした独自のマルチクラウドサービスの提供を加速し、戦略的パートナーとしてお客さまの課題を解決します。

最先端のDX/AX
活用・AI活用

ビジネスプロセス
改革

パートナーとの
共創による事業展開

● システムズエンジニアリングサービス事業

主に通信事業者や公共・社会基盤分野向けに高信頼かつレジリエントな大規模・広域ICTインフラに関するシステム構築およびDXを含むICT／ネットワークインテグレーション・サービスのソリューションを提供。国内外のエンジニアリングおよびサポートサービスを通じて、確かな技術力で安全安心な社会づくりを目指します。

ネットワーク技術

フィールド
エンジニアリング力

全国運用保守
サポート体制

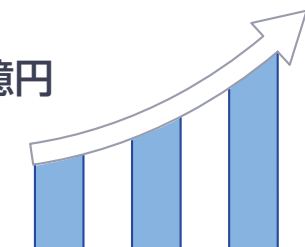
At a Glance (2026年3月31日現在)

事業規模

売上高(2026年3月期:連結)

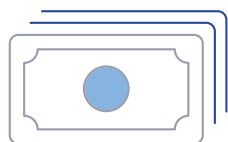
3,960 億円

5年間で**17% UP!**
安定した成長を継続



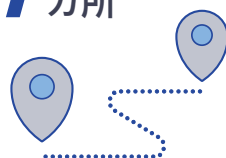
資本金

131 億円



国内(主要)拠点数(単体)

47 力所



※ サービスセンター・パーツセンターを除く

顧客社数(単体)

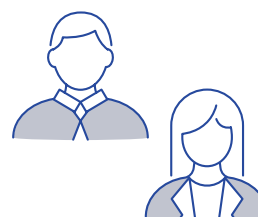
8,052 社



価値創造を支える人材基盤

従業員数(連結)

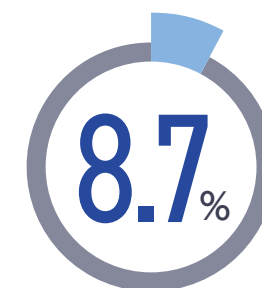
7,576 人



7,500 名を超える人材基盤による安定したサービス提供

活き活きと輝ける環境

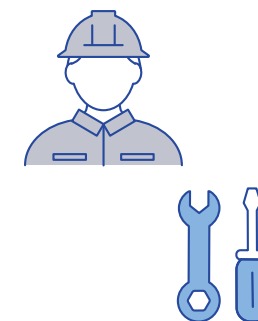
女性管理職比率(単体)



工事・施工力を支える技術基盤

管理技士・監理技術士(単体)

2,190 人



現場起点で生まれる知的財産

保有特許数(単体)
(2026年8月1日時点)

32 件



What We Are

Our Connection to Daily Life

NEC ネットエスアイは、社会インフラを支える通信技術とDX・AI・セキュリティ分野のソリューションを通じて安全安心で豊かな社会の実現に貢献しています。



● 社会と暮らしを支える事業

- | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|---|---|--|--|
| <p>1 教育
学びの質向上と教育運営の円滑化</p> <p>校内ネットワークやICT環境を整備し、オンライン授業など多様な学びと教育運営をサポート</p> | <p>2 交通
安全・快適な移動</p> <p>鉄道・道路・空港の通信ネットワークや管制・監視システムを構築し、安全で快適な移動をサポート</p> | <p>3 消防・救急
迅速で確実な緊急対応</p> <p>消防指令台・無線システムの構築・保守対応により、119番通報への迅速で確実な対応をサポート</p> | <p>4 防災
災害に強い情報伝達</p> <p>防災行政無線の構築やインフラ情報の一元化により、災害情報の伝達と的確な意思決定をサポート</p> | <p>5 官公庁／自治体
住民利便性の高い行政サービス</p> <p>自治体ネットワークや住民サービス向けシステムを提供し、行政業務の効率化、サービス向上をサポート</p> | <p>6 通信
通信インフラの構築と安定運用</p> <p>携帯電話基地局の設置から基幹網のSIまで、日々のコミュニケーションを支えるネットワーク全体をサポート</p> | <p>7 放送
安定した放送を支える設備・基盤構築</p> <p>テレビ送信設備やスタジオ設備の構築・運用・保守、光ケーブルの敷設により、安定した放送をサポート</p> | <p>8 電力・ガス
途絶えないエネルギー供給</p> <p>通信ネットワークや監視システムを構築し、電力・ガスの滞りない供給と安全な運用をサポート</p> | <p>9 海洋
海底から支える通信と観測</p> <p>海底ケーブルや海底地震計、洋上風力発電の電力線の敷設・保守を通じて、海洋利用をサポート</p> | <p>10 宇宙
宇宙利用を広げる監視・運用</p> <p>管制地上局の設置から、人工衛星／探査機との通信、運用管制まで、宇宙利用を幅広くサポート</p> |
|---|--|---|--|---|---|---|---|--|--|

● お客さまの業務・産業を支えるサービス・ソリューション

- | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|--|---|
| <p>11 製造
生産性向上と製造現場の最適化</p> <p>製造現場にデジタル技術を導入し、モノと人の動きの最適化、生産効率の向上を実現</p> | <p>12 データセンター
DX・AI活用を支えるセキュアな環境</p> <p>セキュアで堅牢な環境で運用・アウトソーシングやクラウドサービスを提供</p> | <p>13 金融
途切れない金融サービスを支える基盤</p> <p>信頼性の高いネットワークとセキュリティ対策により、金融サービスの継続をサポート</p> | <p>14 オフィス
生産性の高い柔軟な働き方</p> <p>クラウドサービスと先端技術を活用し、場所や組織を超えて共創できる柔軟な働き方を実現</p> | <p>15 ホテル
心地よい滞在とスムーズなホテル運営</p> <p>音声通信、客室管理、宿泊者向け情報提供などにより、快適な滞在と効率的なホテル運営をサポート</p> | <p>16 店舗
快適な購買体験と運営効率化</p> <p>Wi-Fiやローカル5Gなどの通信環境と情報・映像サービスにより、快適な購買体験と効率的な店舗運営を実現</p> | <p>17 一次産業
生産性向上と地域活性化</p> <p>デジタル技術を活用し、農業・林業・水産業の生産性向上やビジネスモデル変革、地域活性化をサポート</p> | <p>18 公共施設
施設利便性と運営品質の向上</p> <p>通信環境や情報・映像サービスを整備し、来場者の利便性向上と施設運営の高度化をサポート</p> |
|--|---|--|---|---|---|--|---|